

News Release

2018年12月20日
一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

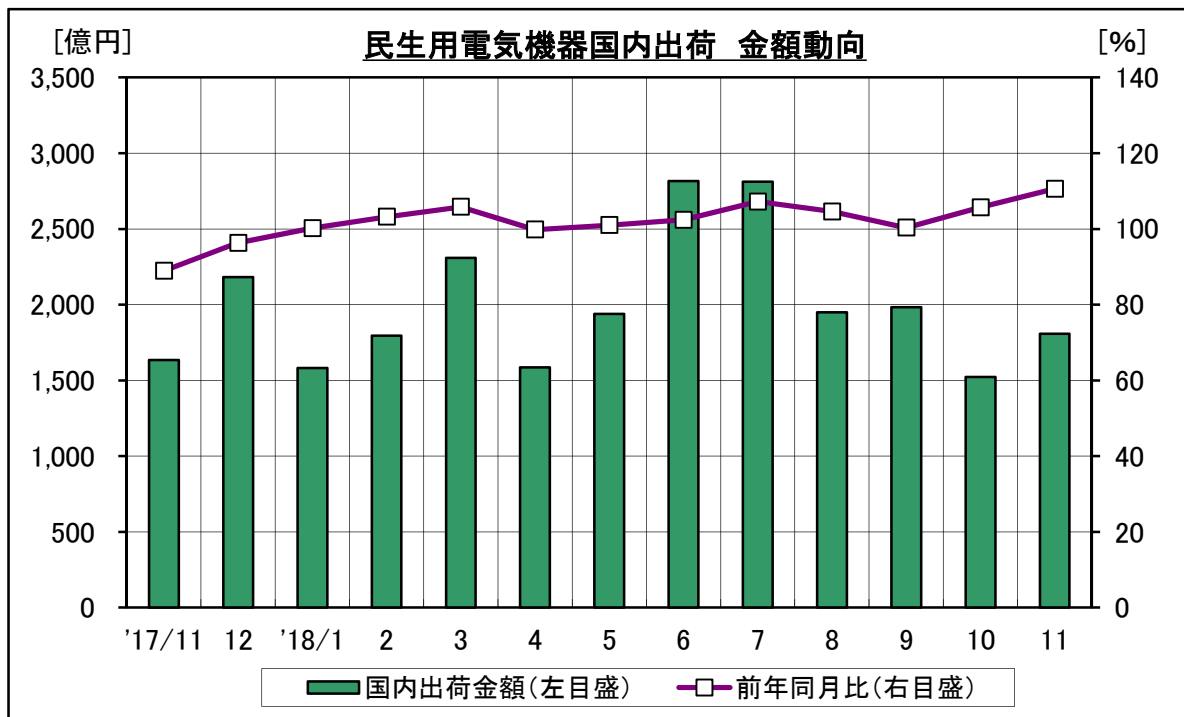
民生用電気機器 2018年11月度 国内出荷実績

【概況】

民生用電気機器の2018年11月度の国内出荷金額は、1,807億円、前年同月比(以下前年比と略記)110.6%と7カ月連続のプラスとなった。

製品別の国内出荷金額を見ると、ルームエアコンは458億円、前年比120.4%と10カ月連続のプラス、電気冷蔵庫は254億円、同116.9%と3カ月ぶりのプラス、電気洗濯機は243億円、同110.4%と5カ月連続のプラスとなった。

安定した買替需要に支えられ、ルームエアコン、電気冷蔵庫、電気洗濯機等の高付加価値製品を中心とした主要製品がプラスとなり、民生用電気機器全体を牽引している。



単位: 金額 億円、前年比 %

年月	'17/11	12	'18/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
金額	1,634	2,183	1,581	1,796	2,308	1,585	1,938	2,817	2,811	1,950	1,984	1,523	1,807
前年比	88.9	96.3	100.2	103.2	105.8	99.8	101.0	102.4	107.2	104.6	100.3	105.7	110.6

【 2018年11月度 主要製品の国内出荷 】

● ルームエアコン

- ・ 2018年11月は、493千台、前年比113.3%となり、10ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 5ヵ月連続で二桁伸長しており、高い水準を維持している。

● 電気冷蔵庫

- ・ 2018年11月は、221千台、前年比114.7%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 冷蔵庫全体の約半数を占める「401L以上」の大型タイプが104千台、同118.1%と3ヵ月ぶりのプラスとなった。

● 電気洗濯機

- ・ 2018年11月は、315千台、前年比104.6%となり、3ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 「洗濯乾燥機」は68千台、同110.1%となり、5ヵ月連続のプラスとなった。「ドラム式」も堅調に増加し、数量構成比で5割を超えた。

● 電気掃除機

- ・ 2018年11月は、440千台、前年比101.5%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ キャニスター形の構成比が減少する一方、たて形(スティック形)の構成比が増えている。

● 電子レンジ

- ・ 2018年11月は、300千台、前年比95.1%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。
- ・ 電子レンジ全体の約7割弱が、高機能な「オーブンレンジ」となっている。

● ジャー炊飯器

- ・ 2018年11月は、484千台、前年比106.5%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ ご飯の食味や食感を追及したIH式は、全体の約8割弱を占めている。

● IHクッキングヒーター

- ・ 2018年11月は、72千台、前年比105.5%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 「2口以上のビルトイン型」が全体の約8割強を占めている。

以 上

本資料に関する弊社お問い合わせ先
TEL:03-3556-5887
家電部調査統計課